

「鷺宮かぐらの里」 (鷺宮) にて公演 (第34回)

2017. 4. 15

皆さんお元気ですか？

今年度2回目の「いきがい熊谷座」ボランティア活動を報告いたします。
昨年は32回の施設訪問を行って来ました。

今回は、昨年3月、9月に続きリピート3度目の「鷺宮かぐらの里」訪問となりました。

今回も玄関に書いてある歓迎プレートに驚きです。気合いが入ります。

スタートの『南京玉すだれ 基本』は私たちの演技の原点です。何十回、ヒョットして練習含めたら何百回もやっていますがいつまでたってもうまくいかないもどかしさ…、それがイキガイかもナンテ？



演技が終わったら、自己紹介、何処までハナソカナ？なんて考えてしまいます。座員一同、自分の住んでるところのPRに力が入ります。ホント、来られればいいね。



今日は45分の公演時間を頂きました。
「南京玉すだれ『麦畑』」は二人ペアで演じます。
そこはかとな「若き日のトキメキ」を感じて貰えたらと思い演じています。
施設に来ている人たちに若いときのアノ恋心を思い出して貰えれば最高です。



「サザエさん体操」では皆で元気よく踊れました。



「触れ合いタイム」は「南京玉すだれ」に触っていただく時間です。「自分にできるの？」それが出来たときの喜びは、たった一つの形でも自分が主役になります。私たちが演じているように、「見て、見て！」うれしくなってカメラに向かって笑い顔、皆さん、今日は自慢顔です。



今日の最終演目は『キヨシのずんどこ節』です。皆さんの「キヨシ」のかけ声も気合いが入ります。ヒョットして「私たちはスター？」ボランティアっていいなア。



少し時間もあったので、色々な形をつかって「これなあに？」のコーナーもやってみました。



いつも公演の終わりには施設の皆さんとお茶をいただいています。ここで今回初めてのハプニングです。カラオケが始まりました！歌の好きな私も気持ちよく歌わせて頂きましたが我が人生一番のカラオケとなりました。

記 高木民男